

2004年12月26日09時58分頃のスマトラ島西方沖の地震について

12月26日09時58分頃（日本時間）スマトラ島西方沖でM9.0（米国地質調査所国立地震情報センターによる）の地震が発生しました。

気象庁では、遠隔地で発生した地震については、地震津波監視課精密地震観測室（長野市）の地震計をはじめとする全球地震観測ネットワーク（IRIS：別紙1）の地震データをもとに震源・規模を推定しています。今回の地震についても、米国地質調査所（USGS）や太平洋津波警報センター（PTWC）からの情報も参考に、震源がスマトラ島西方沖であることから日本への津波の影響はないと判断し、その旨を26日10時44分に地震情報として発表しました。

精密地震観測室で観測したこの地震による地震波形は別紙2のとおりで、地球を何周もした地震波が記録されており、今回の地震の規模が非常に大きかったことがわかります。

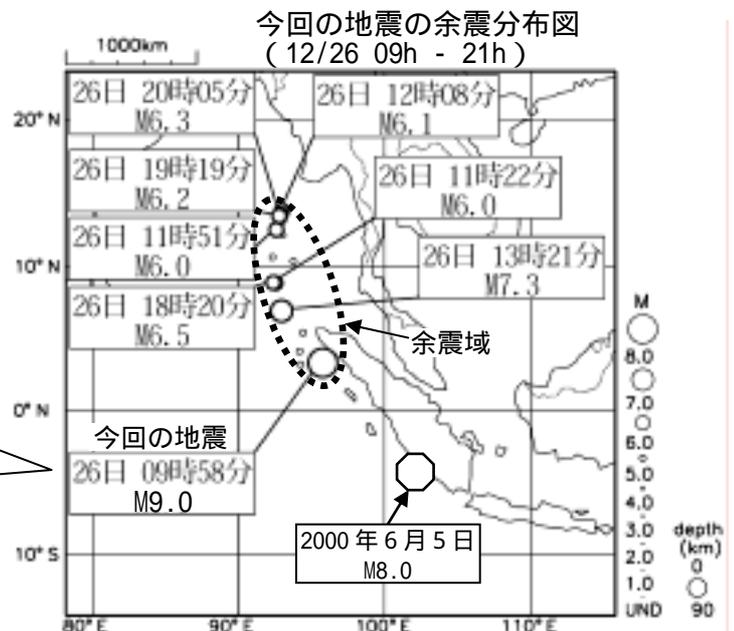
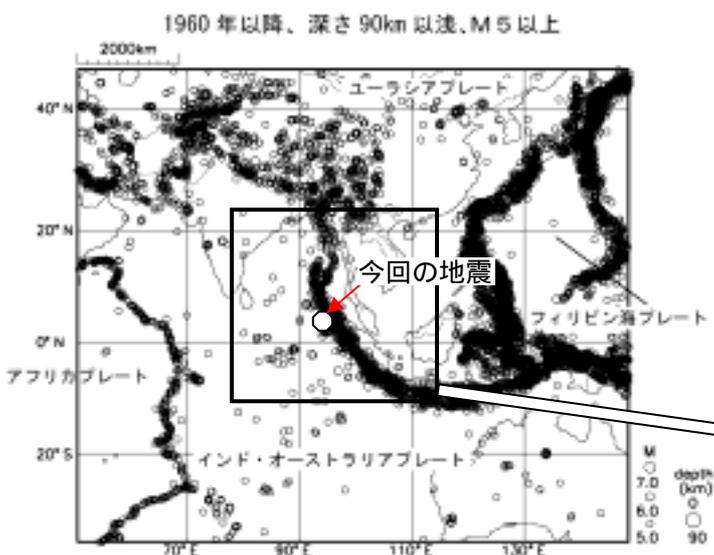
今回の地震の規模がM9.0と推定されていることから、この100年間に全世界で発生した地震の中で4番目に大きかった地震であるといえます。今回の地震に伴う余震は、震源から約1,000km北方まで広がって分布しており、震源域が巨大であったことを裏付けています。

今回の地震が発生した付近は、インド・オーストラリアプレートがユーラシアプレートに沈み込んでいる地域で、過去に大きな被害を伴う地震が発生しています。今回の地震も、プレートの沈み込みに伴う地震と考えられます。最近では2000年06月05日（日本時間）にM8.0の地震があり、死者103名、負傷者2,585名の被害（津波による被害はなし）を生じました。

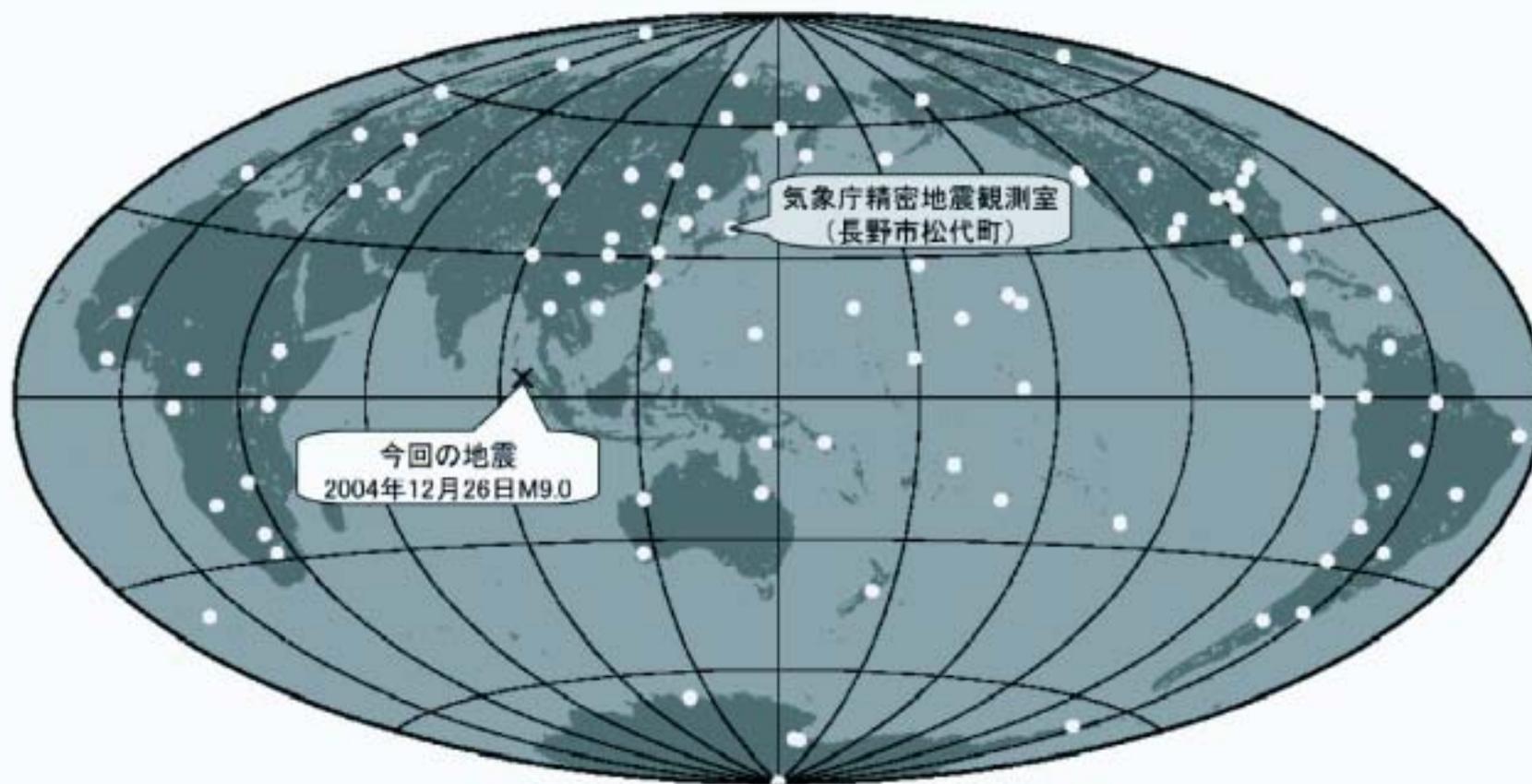
太平洋で大きな地震が発生した場合には、太平洋津波警報センター（PTWC）が津波に関する情報を発する仕組みが出来上がっていますが、太平洋以外の地域については、こうした警報システムは存在しません（別紙3）。

この100年間で全世界で発生した巨大地震のマグニチュード(Mw)

1	1960年	チリ地震	M9.5
2	1964年	アラスカ地震	M9.2
3	1957年	アリューシャン地震	M9.1
4	2004年	今回の地震	M9.0
4	1952年	カムチャッカ地震	M9.0

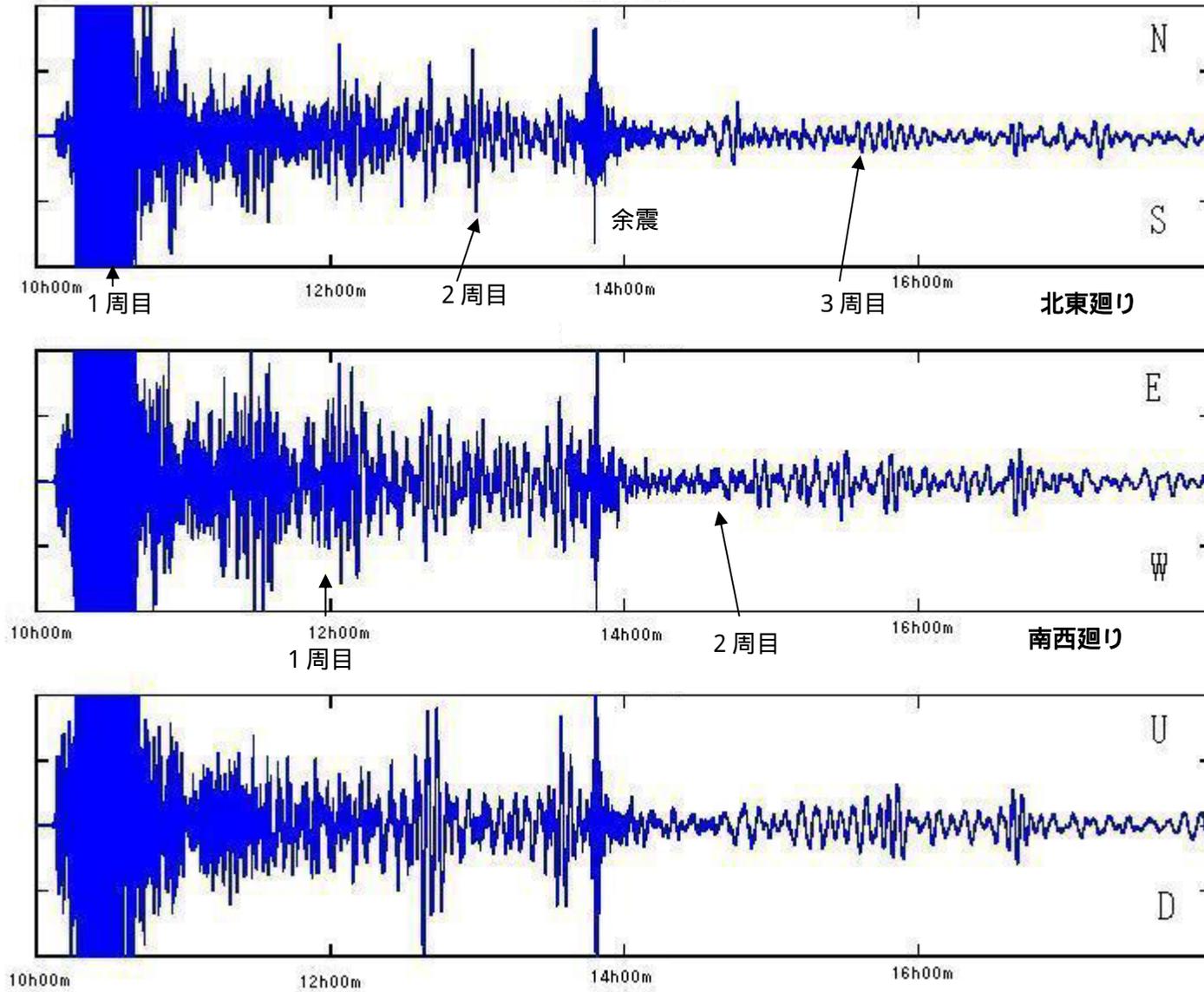


全球地震観測ネットワーク(IRIS)



精密地震観測室（長野市）における全球地震観測ネットワークの地震波形

2004年12月26日 10:00---18:00



津波予報に関する国際協力 (UNESCO/IOCの枠組みの下)

北西太平洋津波情報センター(日本)
／平成17年3月から
業務開始

アメリカ西海岸/アラスカ津波警報センター(アメリカ)／運営中

太平洋津波警報センター(アメリカ)／運営中

南太平洋・インド洋津波警報組織(インドネシア)／構想中

中米津波警報組織
(ニカラグア等6カ国)
／構想中

